

平成29年8月 資金需給見込み

平成29年8月3日
上田八木短資株式会社

(単位:億円)

	見込み	(前年実績)	(前年比)
銀行券要因	△ 2,200	1,328	△ 3,528
財政等要因	△ 118,300	△ 181,194	62,894
国債等	△ 98,800	△ 109,273	10,473
国庫短期証券等	△ 31,600	△ 74,932	43,332
租税	△ 48,600	△ 46,900	△ 1,700
社会保障	13,800	9,800	4,000
交付金	1,100	1,000	100
公共事業	2,000	2,000	0
一般その他	4,400	4,700	△ 300
財政融資	△ 2,000	△ 3,500	1,500
外国為替資金	-	△ 1,100	1,100
保険	36,200	36,600	△ 400
特会その他	1,200	1,300	△ 100
資金過不足	△ 120,500	△ 179,866	59,366

(日本銀行・財務省公表資料より。財政等要因の内訳は主要項目のみ。)

1. 銀行券

銀行券要因は、2,200億円の発行超と予想される。

(8月末銀行券発行残高前年比見込み+4.7%)

2. 財政等要因

余剰要因として、年金の定時払等や後期高齢者医療給付費等負担金の払いがある一方で、不足要因として、消費税・源泉所得税等の揚げが見込まれるため、11兆8,300億円の不足となる見込み。

なお、国庫短期証券売買オペにより日銀が取得した国庫短期証券のうち、8月中に償還期日が到来する金額は3兆9,600億円である。

3. 資金過不足

この結果資金過不足は、12兆500億円の不足となる見通し。

4. 日銀調節残高

(平成29年7月31日現在) 単位:億円

	7月末残	うち8月中期日到来残高	期落ち比率
共通担保(本店)	0	0	-
共通担保(全店)	3,181	2,791	88%
CP現先	0	0	-
成長基盤支援強化	68,863	0	-
被災地金融機関支援	5,205	895	17%
貸出増加支援	375,194	0	-
国債買現	0	0	-
資金供給調節合計	452,443	3,686	1%
売手入札	0	0	-
国債売現	0	0	-
資金吸収調節合計	0	0	-

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。

有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。